

表千家宮城県青年部

青年部たより

第16号

令和6年3月

青年部青葉茶会

令和五年五月二十一日(日)



中止となった鹽竈神社観桜茶会の代替行事として、大年寺山公園内茂ヶ崎庵にて青年部主催のお茶会「青葉茶会」を開催しました。

五期の役員に
とっては最後の
お茶会でした。
集大成の意味を
込め、長板の点
前を行いました。



青葉茶会とい
う名称は仙台の街を作った伊達政宗
公を祀る青葉神社の祭礼 仙台・青葉
まつりにちなんだものです。

仙台に居城を定めた当時、政宗公は三十四歳。青年部なら役員を務めている頃です。戦乱の時代を逞しく生き抜き、わたしたちのふるさとを
発展させた政宗公のように成長
したいという願
いを込め、床の
間には「三級浪
高魚化龍」を掛
けました。



青葉まつりで披露されるすずめ踊りの華やかさ、踊り手達の浮き立つ様子を練り切りで表現しました。

昨年は感染症対策の関係から、席数やお呼びするお客様の人数を制限せざるを得ませんでした。今年は前日から準備を行い、席数や一席に入って頂けるお客様の人数も増やしました。

その甲斐あって当日は紹介者の先生方や先輩方のみならず隣県の青年部様や学校茶道の皆様、部員の家族など八十四名のお客様をおもてなしすることが出来ました。



〈参加部員より〉

初夏を感じる素晴らしい青天で、会場までの仲間との談笑や景色が、今でも大切な思い出となっています。受付の奥深さを学びました。お客様が、お帰りになられる時に、「良いいお席でした」とお声掛けして下さい、とても嬉しい気持ちと共に、この茶会の為にお客様の大切なお時間や御心を寄せて茶会に参加して下さいのおかげで、私達青年部は支えられているのだと改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。

席主の次期部長が、掛物の昇り龍の様にこれからも成長していきたいと話している声が聞こえ、頼もしさと共に素晴らしい仲間達と時間を過ごす事が出来た事に、感謝の気持ちでいっぱいの一日でした。

卒業後も青年部と繋がっていく事の大切さを学び、繋がりが続いていくけたらと思います。
(菅間信子)



ごあいさつ

部長 千葉亮

今年度より宮城県青年部の部長の任をお預かりすることとなりました。千葉亮と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

これまで先輩方が築かれた基礎を守りつつ、表千家のお茶を嗜む若い世代の繋がりを広げるために精進してまいります。

三年に及んだコロナ禍による自粛生活中も茶道との関わりを無くすまいと尽力される同門会の方々、青年部の先輩方の姿を目の当たりにしました。厳しい制約の中でも楽しみ方を工夫することにお茶の神髄を感じました。

休止していた青年部行事を再開する際には、多くの方々にご協力を頂き、無事に開催のはこびとなりました。続ける事の大切さを痛感したと共に、新しい考えを柔軟に取り入れるべく気づきを得ることができました。このように楽しみ、喜び、学びの機会を与えて頂けるたび感謝の念に堪えません。

この青年部たよりにて日頃ご協力、ご教示頂いている皆様へ感謝の気持ちをお届けできればと思います。また次へ繋げて行くためのご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

全国都市緑化仙台フェア

茶席体験ワークショップ

令和五年四月三十日(日)



一般のお客様に、お茶席の雰囲気を感じて頂くことが出来ました。



「第四十回全国都市緑化仙台フェア」にて茶席体験ワークショップを行いました。全国都市緑化フェアは、国土交通省が提唱し各市町村区が主催者となり昭和五十八年から毎年、全国各地で開催されている花と緑の祭典です。仙台では平成七年以来二度目の開催となりました。



初めてのワークショップでも、いろいろありましたが、一般の方にお茶の楽しさ、奥深さを伝えるのも青年部の大切な役割ととらえ、役員一同手探りながらも内容話し合い、準備をすすめてゆきました。



会場はフェアのために仙台市青葉区追廻地区に新たに整備された緑彩館の和室です。現代的なセンスの感じられる真新しいお茶室に、一般の方にも馴染みのあるお軸とお花を飾りました。緑とふれあうイベントということで、野点の雰囲気を出そうと考え、旅卓を使った点前を行いました。

〈参加部員より〉

真新しい茶室、ワークショップ形式の茶席体験、初めて尽くしのチャレンジでもあり拙いお席であったかもしれませんが、それでも当日はお客様が真剣に、また楽しそうに過ごされる様子に、私たちも自然と楽しむことができたように感じます。

掛物には「一期一会」を選びました。緊張の中にもおもてなしの心は伝えられたでしょうか。

この度はフェアへの参加に恵まれましたこと、ご支援いただきました先生方、皆様に御礼申し上げます。

(増田知夏)



一番町ストリート茶会

令和五年九月九日(土)



平成二十年の発会当年、一般の方に茶の湯文化を体験してもらえイベントを開催しました。

以来十五年。仙台市中心部にあるばらんどーむ一番町アーケードで行われる「ストリート茶会」は宮城県青年部の大切な定例行事になっています。平成二十一年からは茶道裏千家淡交会宮城青年部さんとご一緒させて頂くようになりました。ともに茶の湯を愛する若者同士、いまでは貴重な交流の場になっています。



茶会自体はコロナ禍により二年間の中断を余儀なくされました。それでも令和三年には「オンライン和菓子作り体験」を翌年には「オンライン懐石作り体験」を合同で開催しました。



リオープンの流れのなか再開されることになった今年のストリート茶会。二年間のブランクは決して小さくありませんでしたが、新役員を中心に部員一同、三年ぶりのストリート茶会を成功させるべく努力しました。



自粛期間中に入部してきた新入部員たちも、初体験ながら積極的に参加してくれました。

応援に駆けつけて下さったOB・OGの皆様のご助力を得ながら、重陽の良き日に十六名の仲間達と百六十名を超えるお客様をおもてなしすることが出来ました。



令和五年度青年部総会

令和五年六月十八日(日)



令和五年度青年部総会を、表千家同門会宮城県支部より副支部長渡辺ゆき先生、青年部発会以来お世話になった歴代事務長の近江さき多先生、唐澤淳子先生、畠山照子先生、千葉正子先生ご臨席のもと、トークネットホール仙台(仙台市民会館)にて開催しました。新入部員を含む部員十九名が出席し、前年度諸報告と次年度諸計画等を審議しました。役員交代が行われ、現役員から新役員へ記念品が贈呈されました。総会後には、芭蕉園茶舗の関裕美子氏をお招きし、茶臼挽き体験とお茶についてのお話を伺いました。



第二回青年研修会

令和五年九月十日(日)



宮城県青年部からは部員五名が参加しました。御祖堂に参拝し、お家元を見学させていただいたのち、宗匠方による本部席。京都青年部さんの立礼席では、若々しい感性を取り入れたおもてなしに感動しました。北山会館地階清友ホールにて猶有斎宗匠よりご挨拶を頂戴しました。また不審菴文庫主席研究員の原田茂弘先生の講演を拝聴しました。「内弟子と参加青年部員との懇親座談会」では会場からも盛んに質問が飛び、予定時間では納まらないほど活発に意見交換が行われました。大変貴重な機会を用意して下さいました本部の宗匠方、京都青年部の皆様に心より厚く御礼申し上げます。

〈青年部体験会作品展示〉

令和六年七月十六日に表千家同門会宮城県支部資格者講習会、翌十七日に同支部総会並びに一般講習会が開催されました。

両日会場にて、令和四年に一閑張り教室「アトリエ千日紅」主催 橋本年古先生にご指導いただいた一閑張りのお皿を展示、ご来場の方々に青年部の活動を紹介させていただきました。

陶芸体験会

令和五年十一月二十六日(日)



陶芸体験会を「古民家アトリエひろ窯・文麓庵」(岩沼市北長谷)にて開催しました。

末家焼窯元加藤文夫先生、ひろ子先生ご指導の下、参加者それぞれが自分好みのお茶碗を作陶しました。



〈参加部員より〉

今から三百年前、亘理城主五代伊達実氏が備前より陶工を招き邸内の窯で焼いた事が始まりとされる「末家焼」の陶芸体験に参加する機会をいただきました。

作る楽しさと私にも出来るものか不安の中、いざ「ひろ窯」さんへ。築百五十年の歴史ある素敵な古民家で、窯元より歴史や釉薬の特徴など丁寧にご指導いただいたおかげで、気が付けばあっという間に時間が過ぎて行きました。

使用した陶土は、鉄成分が多い色であり、質感は柔らかく、火入れ後は十五%小さく仕上がります。



三分の一を高台に、茶だまりの窪みや縁を立てて茶筌ずりを作り、紐土五本を積み上げ凹凸をならしていきます。

意気揚々と取り組んだ結果、茶碗が歪み、口が広がり、オンリーワンの個性ある茶碗となりました。

七種類もある釉薬では、火入れの具合で色が化ける「チタン釉」をお願いし、ワクワクしながら作品を待ち侘びている日々です。

窯元「ひろ窯」さんに変化が起き、楽しい時間をいただきありがとうございました。また、青年部の皆様のおかげで貴重な体験をすることができ感謝申し上げます。ありがとうございます。(及川あや)



令和6年度事業計画(案)

第18回鹽竈神社観桜茶会

令和6年5月3日(金)

場所: 鹽竈神社大講堂南側

令和6年度青年部総会

令和6年6月9日(日)

場所: 日立システムズホール仙台

第14回一番町ストリート茶会

開催日未定

場所: ぶらんどーむ一番町アーケード内

体験会(開催時未定・内容企画中)

青年部たより第17号発行

※変更になる場合がございます。詳細につきましては宮城県青年部事務局までお問い合わせ下さい。

〈公式メールアドレス〉
miyagikenseinenbu@gmail.com



第6期 新役員紹介

部長 千葉 亮

副部長 小野寺 由美

加藤 喜之

会計 有元 尋史

入間田 花衣

監査 大橋 珠美

八巻 真裕美

相談役 遠藤 慎一



表千家青年部
入会案内ページ

入会申込書をダウンロード
できます。



事務局からのお知らせ

○青年部入会のご案内

年齢が十八歳以上四十五歳までで、表千家の先生もしくは支部役員の推薦が受けられる方の入会をお待ちしています(同門会未入会の方でも対象となります)。

入会希望の方は事務局までご連絡下さい。入会申込書を送付させていただきます。また、入会申込書は上記表千家青年部入会案内ページよりダウンロードすることもできます。

○住所・氏名等変更の届出

住所・氏名等に変更がある場合は、書面にて青年部事務局まで届け出てください。同門会に入会されている方は、同門会本部事務局と青年部の両方に届け出てください。

○退会の届出

退会をご希望の方は、書面にて青年部事務局まで届け出てください。

○卒業について

青年部規約における会員の年齢制限を満了された方(昭和五十三年三月三十一日以前にお生まれになった方)は、令和六年三月三十一日をもって卒業となります。これまで青年部活動へのご参加・ご協力ありがとうございました。

○年会費について

令和六年度年会費二千円の納入をお願いします。

【振込先】

七十七銀行新伝馬町支店
普通口座 5767954
表千家宮城県青年部

部長 千葉 亮

【納入期日】 五月末日

※振込人氏名の記入をお願いします。

編集後記

・発行にご協力いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。(有元)
・今年度は役員改選に加え行事もたくさんあり、とても充実した一年でした。(大橋)

「青年部たより」第十六号

発行日 令和六年三月

発行責任者 表千家宮城県青年部

表千家宮城県青年部事務局

〒980-0011

仙台市青葉区上杉三三二一

上杉NSビル七階

表千家同門会宮城県支部内

※掲載されている写真等は許可なく複製することを禁止します。